



戸田市立新曽北小学校「非認知（社会情緒的）能力」育成プログラム

※非認知能力は、つけさせるのではなく、自分でのばしていくもの。大人はそのための環境をする。

<目指す学校像>

安心できる居場所があり、
自分を表現できる学校

<目指す児童像>

- ・身近なところから課題を発見し、探求し続ける児童 **（自分を高める力）**
- ・失敗を恐れず、粘り強く取り組む児童 **（自分と向き合う力）**
- ・友達との関わりを大切に、楽しみながら学ぶ児童 **（他者とつながる力）**



北小トライアングル

児童が生き生きと思いを主体的に伝え合うことができるよう、3人組による話し合いを積極的に取り入れています。互いの考えを伝え合い、自分の考えを深め、新たなものを生み出そうという創造的な思考・学びにつなげていきます。

創造力



ICT機器の活用(GIGAスクール)

児童がICT機器（一人一台PC）を積極的に活用し、文房具のような「学びのツール」として活用していきます。思考の過程を可視化することなど、主体的に学びを深めます。

自分ゴト化し、挑戦する力



プロジェクト型学習(PBL)

身近なところから、そして十分な情報の中から課題(正解が決まっていない課題)を発見し、自分ゴトとしてできることを考え、家庭や地域に発信していきます。

探求心



汎用的スキルの活用

各教科等で培った汎用的スキルを活用する場を意図的・計画的に設定します。また、子供たちが相手意識、目的意識をもって活動を意欲的に続けられるようにし、探究心を育みます。

チャレンジする取組



様々な活動を通して、興味・関心をもったことに前向きに取り組む中で、目標を設定し、チャレンジする気持ちややり抜く力を育みます。
(自分で見つけた活動や読書活動、チャレンジ縄跳び、持久走など)

考えたことを表現し合う活動



さくらそう交流活動

インクルーシブ教育の一環として、特別支援学級と通常学級の交流活動を積極的に進めています。

お互いに相手のことを考える・思いやる、多様性の理解につなげていきます。

やりぬく力



学級活動の取組

本校の学級活動では、学級全体で生活の課題について考え、自分自身の目標をもち、実践し、振り返るようにしています。

自分の目標をもってやり通すことで、成功体験を重ね、やり抜く力を育みます。

安心できる居場所 (学級経営の充実)

多様性の理解 他者との協働



にじ色縦割り活動

1年生から6年生までの異年齢集団の交流を通して、低学年への思いやりの気持ち、上級生への尊敬の気持ちを育みます。また、にじ色などの縦割り活動を通して、異学年の班で協力して過ごす楽しさを味わいます。

「自分ゴト」としての学びの充実感がある授業

居心地の良い、安心できる学級